

小学校【社会科】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

岐阜教育事務所

1 主体的・対話的で深い学び（小学校学習指導要領解説 総則編 P77一部抜粋）

- 「主体的な学び」… 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。
- 「対話的な学び」… 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。
- 「深い学び」… 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう。

2 小学校社会科における「社会的事象の見方・考え方」とは（小学校学習指導要領解説 社会編）

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して（視点）、社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること（方法）。

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善例

| つかむ | 【主体的な学び】 社会的事象に対して問いを設定する。 ・具体的な事実の読み取りと既習の関連化を促す。 ・疑問を出し合ったり、教師から発問したりして課題意識を喚起する。 | 【対話的な学び】 事象や仲間の発言からの考えを伝える。 ・仲間の発言を聴き分けた発言を価値付ける。 ・事象の疑問に共通する点を見出し、共有するよう促す。 | 【深い学び】 事象を既習や経験と関連付ける。 ・既習との共通点や相違点に注目して捉える。 ・「どうなっているか・なぜか・どうしたらよいか」という視点で発問する。 |
|------|--|---|--|
| 深める | 社会的事象を既習の知識や概念と比較・関連付け、 認識のズレや新たな問い、驚き・感動、社会に見られる課題 などから学習課題を設定する。 | | |
| | 課題解決の見通しをもてるようにする。 ・確かな根拠をもとにした予想を視点別に整理する。 ・追究の視点や必要な情報を明らかにし、学習計画を立て、追究内容・解決方法を検討できるようにする。 事実の具体化・関連化を図られるようにする。 ・資料・体験等からの事実と学習課題の解決につなげて考えている姿を価値付ける。 内容を関連付け、関係性・努力や工夫・願い・価値を見出す。 ・学習課題について明らかとなった事実を位置付け、さらに問いを深める。 ・自らの生活や社会生活につなげて考えるよう促す。 内容と学び方を振り返り、社会についてまとめる。 ・学習を振り返り、学習成果を吟味したり、新たな問いを見出したりする。 | 既習や経験、視点を共有する。 ・学習課題に対して、生活経験や既習を振り返るようにする。 調べ方やまとめ方など学び方を示す。 ・資料に対して自身の認識や経験を関連付けて、自己の考えを広げ深めるよう学び方を示す。 ・実社会で働く人や先哲の言葉を基に、願いを捉える活動を位置付ける。 意図を明確にして、話合いや討論などの対話を位置付ける。 ・児童の発言に、具体性を求めるよう問い返す。 ・他の児童と関連付けて考えるよう促す。 ・児童相互の話合いや討論の活動を位置付ける。 ・対話的な活動からの気持ちを表出するよう促す。 ・多様な視点から事象の特色や意味などを多角的に考えるよう促す。 | 社会的な見方・考え方を働かせて事象を捉える。 ・予想に関連する情報を取捨選択しながら収集し、多様な視点から追究する姿を価値付ける。 ・位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互の関連から事象を捉えるよう促す。 知識・認識の広がりや深まりを明確にする。 ・比較・分類・総合や地域住民や国民の生活と関連付けたりするよう促す。 ・学習の深化や転用、社会参画につながる問いを設定する。 ・社会に見られる課題を把握して、社会への関わり方を選択・判断する活動を仕組む。 単元の問いにつなげて考える。 ・本時の内容（具体的知識）と単元で関連する内容（中心概念）の明確化。 |
| まとめる | まとめ ・課題に対するまとめ ・生活や生き方との関連 ・学び方の振り返りと次時への見通し | | |

「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養